

---

# 東京都微生物検査情報

## MONTHLY MICROBIOLOGICAL TESTS REPORT, TOKYO

---

第44巻 第9号  
2023年9月号  
月 報



東京都健康安全研究センター

<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>

---

ISSN 1883-2636

## 都内飼育動物におけるジアルジアの検出状況（令和2～4年度）

### 1. はじめに

ジアルジア症は原虫の一種である *Giardia intestinalis*（以下ジアルジア）の腸管内寄生により引き起こされる下痢性疾患であり、ジアルジアはヒトだけでなく家畜、伴侶動物、海獣類に感染することが知られている。感染症法では五類感染症（全数把握対象）に定められており、診断した医師は7日以内に最寄りの保健所に届け出ることが義務付けられている。

ヒトへの感染は、主に感染者から排泄されるジアルジアのシストを手指や飲食物を介して経口摂取することや、感染者との性的な接触により成立するが、海外では感染動物からヒトへの感染が疑われる事例が報告されている<sup>1)</sup>。ジアルジアには現時点で8つの遺伝子型（Assemblage A-H）が存在し、Assemblage A および B はヒトと動物の双方から検出され、動物由来感染症の原因として認識されている<sup>2)</sup>。

都では動物由来感染症調査事業において、都内のペットショップで販売されているイヌおよびネコを対象とし、細菌、真菌、寄生虫等の動物由来感染症起因病原体の保有状況調査を実施している。本稿では、令和2年度から4年度に実施した調査におけるジアルジアの検出結果および検出したジアルジアの遺伝子型別結果について以下に報告する。

### 2. ジアルジアの検出状況

令和2年度からの3年間に都内ペットショップで販売されていたイヌ126頭およびネコ97頭から採取した糞便を検査材料とした。ジアルジアシストの検出は、ホルマリン・エーテル法（MGL法）による沈渣の蛍光抗体染色により行った。検査を実施したイヌの糞便126検体中32検体（25.4%）、ネコの糞便97検体中9検体（9.3%）からシストが検出された。ジアルジアが検出されたイヌの月齢は1カ月齢から8カ月齢（7カ月齢は検出なし）で、ジアルジア陽性件数は2カ月齢が9検体と最も多かった。ジアルジアが検出されたネコの月齢は1カ月齢から4カ月齢であった（図1）。

### 3. ジアルジアの遺伝子型別

ジアルジアが陽性となった糞便から免疫磁気ビーズによりシストを収集し、DNA抽出を行った。ジアルジアの遺伝子型別は、既報<sup>3,4)</sup>に従い18SリボソームDNAおよびGDH（glutamate dehydrogenase）遺伝子の系統解析により実施した（図2）。イヌでは陽性となった32検体中10検体がAssemblage C、22検体がAssemblage Dであった。ネコでは陽性となった9検体中、3検体がAssemblage A、1検体がAssemblage B、5検体がAssemblage Fであった（図2）。

### 4. まとめ

Assemblage A および B 以外の遺伝子型のジアルジアは、宿主特異性が高いことが知られている。本調査においてイヌのジアルジア陽性率はネコと比較すると高率（25.4%）であったが、イヌから検出されたジアルジアの遺伝子型はイヌ科動物に特異的なAssemblage C および D であり、これらのヒトへの感染性は低いと考えられた。一方で、ネコではジアルジアの陽性率は9.3%と低いものの、ネコ科動物に特異的なAssemblage F だけでなく、ヒトと動物に共通の遺伝子型であるAssemblage A および B に属するジアルジアが検出された。そのため、これらのジアルジアがヒトに感染する可能性を否定できないと考えられた。

都内では2018年から2022年の5年間で61例のヒトのジアルジア症が報告されており、感染経路は性的接触や海外での経口感染と推定されるものが多い。しかしながら、感染経路不明の症例も散見されており、伴侶動物に由来する感染リスクも否定できない。動物を介したジアルジア症を予防するためには、動物との接触や排泄物処理の際の十分な手洗いが重要である。また、ジアルジアのシストは通常使用の塩素やエタノール等には抵抗性を示すため、動物の飼育施設や飼育ケージの消毒の際には熱湯やスチームを用いるなど、飼育環境の衛生対策を併せて実施することが推奨される。

<参考文献>

- 1) Traub RJ, *et al.* Parasitology, **128**, 253–262, 2004.
- 2) Ryan U, *et al.* Int J Parasitol, **43**, 943–956, 2013.
- 3) van der Giessen JW, *et al.* Int J Parasitol, **36**,

849–858, 2006.

- 4) Homan WL, *et al.* Parasitol Res, **84**, 707–714, 1998.

(病原細菌研究科 神門 幸大)

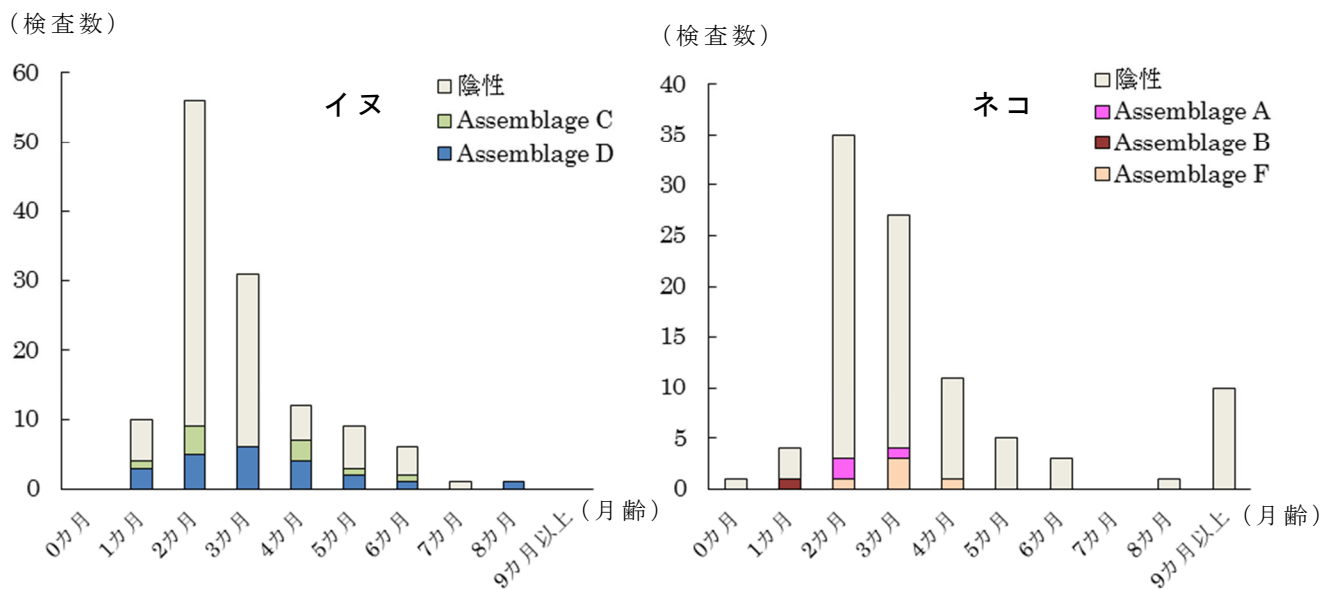


図1. 都内ペットショップにおけるイヌ・ネコからのジアルジア検出状況(月齢別)

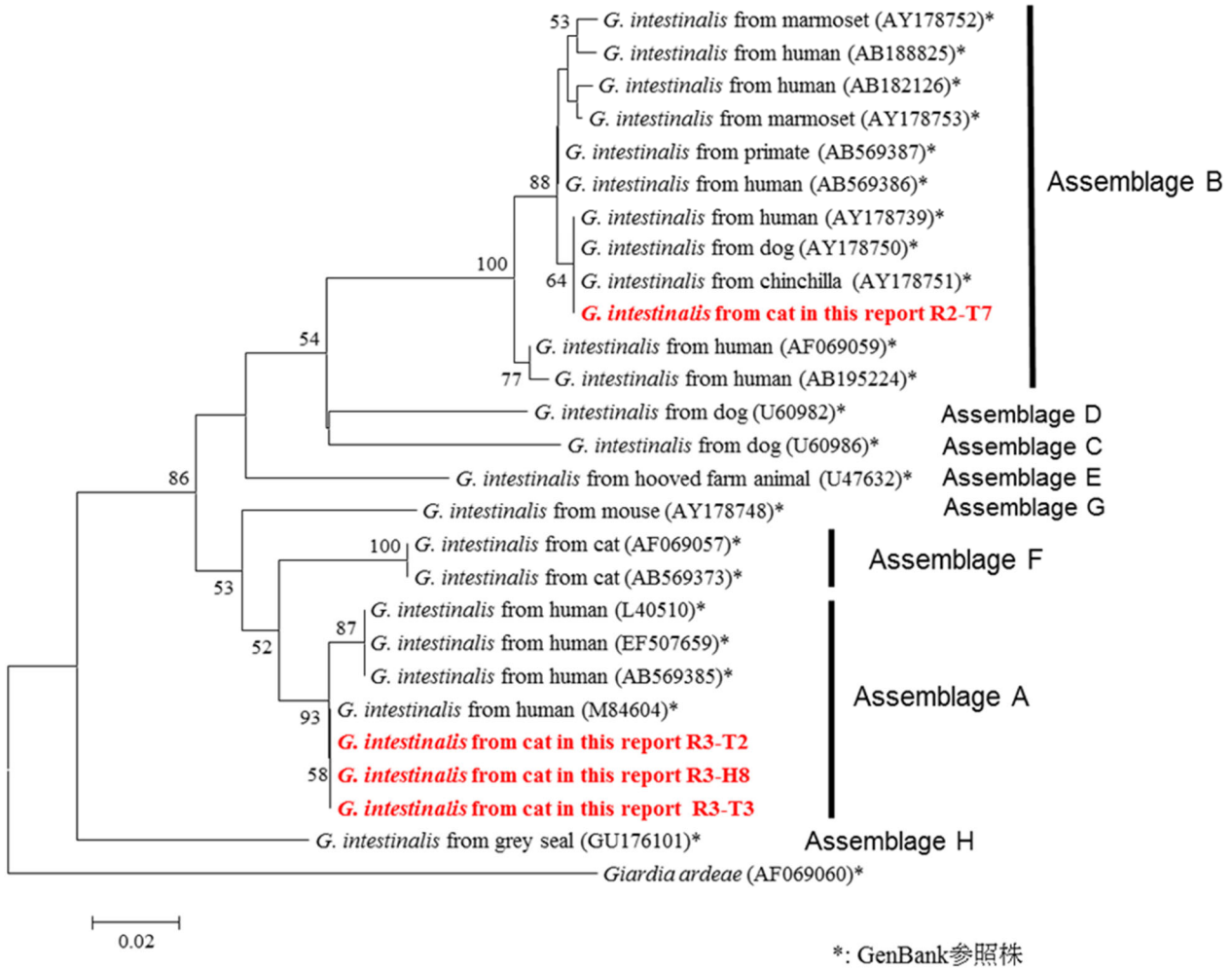


図2. NJ法によるジアルジア GDH 遺伝子の系統解析

## 東京都における新型コロナウイルス（オミクロン派生型）の 変異株スクリーニング検査について

新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）は、遺伝子変異を繰り返し、現在もなお、様々な変異株が発生している。WHO は感染・伝播性、重症化リスク、ワクチン・治療薬の効果等を踏まえた評価により「懸念される変異株（VOC）」、「注目すべき変異株（VOI）」、「監視下の変異株（VUM）」に分類し、世界中がそれら変異株の動向を注視し続けている。

SARS-CoV-2 の変異株解析のためには、次世代シーケンサー（NGS）を用いたウイルスの全長解析が必要とされている。東京都健康安全研究センター（都健安研）においても、東京都内で検出された株について、NGS により全ゲノム配列を取得し、分子疫学解析を実施してきた。しかし、NGS 解析は詳細な遺伝子情報が得られる反面、感度は低く、一件当たりのコストは高く、時間を要する等のデメリットもある。都健安研では、2020 年末の B.1.1.7 系統株（アルファ株）発生当初から、安価で検出感度が高く、迅速性に秀でたリアルタイム PCR 法を用いた SARS-CoV-2 変異株検出系の構築を行い、変異株のスクリーニング検査を実践してきた<sup>1,2)</sup>。今回、2022 年 9 月以降に構築し、実施してきた変異株スクリーニング検査法の構築の経緯と概要について報告する。

オミクロン株は 2021 年 11 月 26 日に命名されて以降、世界的に流行の主体であり、2022 年 8 月 31 日時点では東京都内ではほぼ BA.5 系統株に置き換わった<sup>3)</sup>。その後、BA.5 系統株の中でも、スパイクタンパク質に変異を起こした様々な派生株も出現し、2022 年 9 月には BA.5.3 系統の亜系統でありスパイクタンパク質に K444T、N460K に変異を持つ BQ.1 系統がナイジェリアから報告され、BQ.1 系統に R346T 変異が加わった BQ.1.1 系統も報告された。また、2022 年 12 月以降、日本では BA.5.2 系統株のスパイクタンパク質に R346T 変異を持つ BF.7 系統株が検出され始めた。

BA.2 系統株の派生株も次々と出現し、2022 年 8 月下旬に日本への入国者から、BA.2.3.2 系統株にスパイクタンパク質に R346T、L452R、N460K 等の

変異を有する BS.1 系統株が確認された。なお、BQ.1 や BS.1 に認められる N460K は収斂進化の代表でもあるが、N460K の K（リジン）には塩基配列が aaa のものと aag の 2 種類がある。BQ.1 系統の N460K は aaa、BA.2 系統の N460K は aag であるため、それぞれを分ける系を構築し、N460Ka、N460Kg と表記することとした。

2022 年 10 月以降、BA.2.75 系統株の亜系統株で、スパイクタンパク質の L452R 変異を持つ CH.1.1 系統株や R346T、N460Kg、F490S 変異をもつ BN.1 系統株が検出された。さらに、BA.5.2.3 系統と CJ.1 系統（BA.2.75.3 系統の亜系統）の組換え体である XBF 系統株が発生し、スクリーニング検査対象株とした。これらのスパイクタンパク質の変異部位に対応するリアルタイム PCR 法のプライマーとプローブを随時作製し、変異株スクリーニング検査に追加した（表 1、2）<sup>3)</sup>。

XBB 系統株は BA.2 系統から派生した変異株であり、BJ.1 系統（BA.2.10 系統の亜系統）と BM.1.1.1 系統（BA.2.75.3 系統の亜系統）の組換え体である。2022 年 9 月にシンガポール、インド、バングラデシュなどのアジア諸国や米国からの報告が増加し、日本をはじめ世界各国で検出され、現在の主流株である。XBB 系統株は特徴的な変異として、スパイクタンパク質に Q183E と F490S 変異を有していることから、F490S 検出系とこれまでにオミクロン株検出のために作製してきたプライマープローブセットを組み合わせることによりスクリーニング検査で区別することが可能となった<sup>3)</sup>。その後、F486P 変異を有する XBB 系統株の亜系統である XBB.1.5 系統が台頭し始めた。また、2022 年 10 月頃には XBB.1.5 系統株と同じく F486P 変異を有する XBB.1.9 系統株が検出され始めた。XBB.1.9 系統株はスパイクタンパク質領域以外に、ORF1a 領域に T4175I 変異を有していることから、ORF1a\_T4175I 検出系を構築し、スクリーニング検査に追加することとした。

さらに、スパイクタンパク質に P521S 変異を有す

る XBB.2.3 が検出され始めたことから、P521S 検出系を構築した。また、2023 年 1 月頃からインドにおいて E180V 変異を有する XBB.1.16 系統が検出され始め、この系統にも対応することとした(表 1、3)。

2023 年 8 月 17 日時点、XBB.1.5 および XBB.1.16 は VOI として位置づけられている<sup>4)</sup>。

オミクロン株は 2023 年 8 月時点においても変異を続け、異なる変異を持つ子孫系統を増やしている。WHO は 2023 年 8 月 9 日に EG.5 (XBB.1.9.2.5) 系統株を VOI に認定し、2023 年 8 月 17 日 BA.2.86 系統株を VUM に追加した。EG.5 系統株は XBB.1.9.2 系統の子孫株であり、XBB.1.9.2 系統株のスパイクタンパク質に F456L 変異を新たに有している。このことから、F456L の検出系を構築することで区別を可能にした(表 1、3)。また、BA.2.86 は 2022 年初頭の流行株であった BA.2 と比較して 30 か所を超えるアミノ酸変異を有しており、感染防御免疫やワクチン接種により誘導される中和抗体からの逃避能が高い可能性が危惧されている<sup>5)</sup>。BA.2.86 系統の変異箇所は、EG.5.1 系統の塩基配列と比較すると、スパイクタンパク質の 483 番目のアミノ酸であるバリンが欠損していることから、V483del の検出系を BA.2.86 の検出系とした(表 1、3)。

2023 年 5 月 8 日に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが五類感染症に移行後も、完全終息の見込みはまだなく、2023 年第 38 週(9 月 18 日～9 月 24 日)の東京都の新型コロナウイルス

感染症の定点医療機関当たりの患者報告数は 8.89 人である<sup>6)</sup>。都健安研として、SARS-CoV-2 の流行状況を監視するために NGS 解析のみならず、リアルタイム PCR 法による変異株スクリーニング検査法の構築を今後も行っていく予定である。

#### <参考文献>

- 1) 長島真美: 東京都微生物検査情報, **42**(12), 7-8, 2021.
- 2) 長島真美: 東京健安研セ年報, **73**, 15-24, 2022.
- 3) 長島真美: 東京都微生物検査情報, **43**(10), 7-8, 2022.
- 4) WHO: Tracking SARS-CoV-2 variants <https://www.who.int/activities/tracking-SARS-CoV-2-variants>
- 5) CDC: Risk Assessment Summary for SARS CoV-2 Sublineage <https://www.cdc.gov/respiratory-viruses/whats-new/covid-19-variant.html>
- 6) 厚生労働省: 新型コロナウイルス感染症に関する報道発表資料(発生状況等) 2023 年 6 月～ <https://www.mhlw.go.jp/content/001151300.pdf>

(いずれも 2023 年 10 月 2 日現在。URL は変更または抹消の可能性がある)

(ウイルス研究科 河上麻美代)

表 1. SARS-CoV-2 変異株検出用リアルタイム PCR 法のプライマーおよびプローブ

| 検出領域          | 検出対象         | 名前             | 塩基配列 (5'→3')                    |
|---------------|--------------|----------------|---------------------------------|
| S_variant     | S_R346T      | S_R346T-F      | AAACTTGTGCCCTTTTGATGAAG         |
|               |              | S_R346T-R      | CTGATTCTCTTCCTGTTCCAAGC         |
|               |              | S_R346g        | FAM-CACCAgATTTGC-MGB            |
|               |              | S_T346c        | VIC-CCACCAcATTTGC-MGB           |
| S_variant     | S_N460Kag    | BQ-BN_460K-F   | GCTTGAATTCTAACAAGCTTGATTC       |
|               |              | BQ-BN_N460K-R  | CCGGCCTGATAGATTTCAAGTTG         |
|               |              | BN_K460g       | FAM-AAGTCTAAgCTCAAACC-MGB       |
|               |              | BQ11_K460a     | VIC-GAAGTCTAAaCTCAAACC-MGB      |
| S_variant     | S_Q183E      | S_Q183E-F      | GTCTCTCAGCCTTTTCTTATGGACC       |
|               |              | S_Q183E-R      | CCATCAATATTCTTAAACACAAATTCCC    |
|               |              | S_Q183t        | FAM-GAAGGAAAaAGGGTAAT-MGB       |
|               |              | S_E183c        | VIC-GAAGGAAAaAGGGTAAT-MGB       |
| S_variant     | S_F490S      | S_F490S-F      | AAACCTTGTAATGGTGTTCAGG          |
|               |              | S_F490S-R      | ACACCATAAGTGGGTCGGAAAC          |
|               |              | S_F490t        | FAM-TAATTGTTACTtTCCTTTACAAT-MGB |
|               |              | S_S490c        | VIC-TAATTGTTACTcTCCTTTACAAT-MGB |
| S_variant     | S_S486P      | S_S486P-F      | CAGGCCGGTAACAAACCTTG            |
|               |              | S_S486P-R      | CGGAAACCATATGATTGTAAAGGAG       |
|               |              | S_S486t        | FAM-TGCAGGTtCTAATTGT-MGB        |
|               |              | S_P486c        | VIC-GCAGGTcCTAATTG-MGB          |
| ORF1a_variant | ORF1a_T4175I | ORF1a_T4175I-F | GCACTGATGACAATGCGTTAGC          |
|               |              | ORF1a_T4175I-R | CCTGTAATCGGATAACAGTGCAAG        |
|               |              | ORF1a_T4175c   | FAM-AACACAAcAAAGGGAG-MGB        |
|               |              | ORF1a_I4175t   | VIC-ACAACACAAtAAAGGGAGG-MGB     |
| S_variant     | S_E180V      | S_E180V-F      | GCACTTTTGAATATGTCTCTCAGCC       |
|               |              | S_E180V-R      | AAATCCCTAAGATTTTGAATTACCC       |
|               |              | S_E180a        | FAM-GACCTTGaAGGAAAA-MGB         |
|               |              | S_V180t        | VIC-GACCTTGtAGGAAAA-MGB         |
| S_variant     | S_P521S      | S_P521S-F2     | GTCACCAACCATACAGAGTAGTAGTACTTTC |
|               |              | S_P521S-R2     | CAAATTAGTAGACTTTTtaggtccacaaac  |
|               |              | S_P521Sc       | FAM-CATGCAcCAGCAAC-MGB          |
|               |              | S_P521St       | VIC-ACATGCAiCAGCAAC-MGB         |
| S_variant     | S_F456L      | S_F456L-F      | ACAAGCTTGATTCTAAGCCTAGTGG       |
|               |              | S_F456L-R      | GTTGAAATATCTCTCTCAAAGGTTTGA     |
|               |              | S_F456t        | FAM-ATAGATTGTTtAGGAAGTCT-MGB    |
|               |              | S_L456a        | VIC-ATAGATTGTTaAGGAAGTCT-MGB    |
| S_variant     | S_V483del    | S_V483del-F    | CAACTGAAATCTATCAGGCCGG          |
|               |              | S_V483del-R    | GGGTCGAAACCATATGATTGTAA         |
|               |              | S_V483         | FAM-TTGTAATGGTGTTCAGGT-MGB      |
|               |              | S_V483del      | VIC-CTTGTAAGGTAAGGTCCTA-MGB     |

表 2. SARS-CoV-2 変異株スクリーニング検査対象のアミノ酸変異(1)

| WHO label | Pango lineage | Sタンパク   |       |         |         |       |       |       | Nタンパク | Mタンパク |   |
|-----------|---------------|---------|-------|---------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|---|
|           |               | L452R   | R346T | N460Kag | D339H   | Q183E | F490S | S486P | D3N   | P151S |   |
| omicron   | BA.2          | BS.1    | R     | T       | Kg      | D     | Q     | F     |       | D     | P |
|           |               | BA.2    | L     | R       | N or Kg | D     | Q     | F     |       | D     | P |
|           |               | CH.1.1  | R     | T       | Kg      | H     | Q     | F     | S     |       |   |
|           |               | BA.2.75 | L/R   | R/T     | Kg      | H     | Q     | F     |       | D     | P |
|           |               | BN.1    | L     | R/T     | Kg      | H     | Q     | S     |       | D     | P |
|           |               | XBB     | L     | T       | Kg      | H     | E     | S     | S     | D     | P |
|           |               | XBF     | L     | T       | Kg      | H     | Q     | S     | P     | D     | P |
|           | BA.4          | BA.4    | R     | R       | N       | D     | Q     | F     | (F)   | D     | S |
|           |               | BA.4.6  | R     | T       | N       | D     | Q     | F     | (F)   | D     | S |
|           | BA.5          | BA.5    | R     | R       | N       | D     | Q     | F     | (F)   | N     | P |
|           |               | BF.7    | R     | T       | N       | D     | Q     | F     | (F)   | N     | P |
|           |               | BQ.1    | R     | R       | Ka      | D     | Q     | F     | (F)   | N     | P |
|           |               | BQ.1.1  | R     | T       | Ka      | D     | Q     | F     | (F)   | N     | P |

表 3. SARS-CoV-2 変異株スクリーニング検査対象のアミノ酸変異(2)

| WHO label | Pango lineage      | Sタンパク |       |       |       |       |         | ORF1a  |
|-----------|--------------------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|--------|
|           |                    | S486P | E180V | P521S | F456L | Q183E | V483del | T4175I |
| Omicron   | XBB                | S     | E     | P     | F     | E     | V       | T      |
|           | XBB.1.5            | P     | E     | P     | F     | E     | V       | T      |
|           | XBB.1.16           | P     | V     | P     | F     | E     | V       | T      |
|           | XBB.1.9            | P     | E     | P     | F     | E     | V       | I      |
|           | XBB.2.3            | P     | E     | S     | F     | E     | V       | T      |
|           | EG.5 (XBB.1.9.2.5) | P     | E     | P     | L     | E     | V       | I      |
|           | BA.2.86            | P     | E     | P     | F     | Q     | dcl     | I      |



表1 病原体搬入・検出状況(4種等)\*

2023年9月分

| 機関名               |      | コレラ菌 | 赤痢菌 | チフス菌 | パラチフスA菌 | 腸管出血性大腸菌 | 結核菌 |
|-------------------|------|------|-----|------|---------|----------|-----|
| 区                 | 千代田区 |      |     |      |         |          |     |
|                   | 中央区  |      |     |      |         | 2        |     |
|                   | 港区   |      |     |      |         | 8        | 1   |
|                   | 新宿区  |      |     | 1    |         | 4        | 3   |
|                   | 文京区  |      |     |      |         | 4        | 2   |
|                   | 台東区  |      |     |      |         |          |     |
|                   | 墨田区  |      |     |      |         |          | 1   |
|                   | 江東区  |      |     |      |         | 3        | 1   |
|                   | 品川区  |      | 1   |      |         | 1        |     |
|                   | 目黒区  | 1    |     |      |         | 1        |     |
|                   | 大田区  |      |     |      |         | 6        |     |
|                   | 世田谷区 |      |     |      |         | 4        |     |
|                   | 渋谷区  |      |     |      |         |          | 1   |
|                   | 中野区  |      |     |      |         |          |     |
|                   | 杉並区  |      |     |      |         | 2        | 2   |
|                   | 豊島区  |      |     |      | 1       |          |     |
|                   | 北区   |      |     |      |         | 3        |     |
|                   | 荒川区  |      |     |      |         |          |     |
|                   | 板橋区  |      |     |      |         | 3        | 6   |
|                   | 練馬区  |      |     |      |         | 3        | 1   |
| 足立区               |      |      |     |      | 5       | 1        |     |
| 葛飾区               |      |      |     |      | 2       | 4        |     |
| 江戸川区              |      |      |     |      | 1       | 1        |     |
| 市                 | 町田市  |      |     |      |         | 3        |     |
|                   | 八王子市 |      |     |      |         |          |     |
| 小計                |      | 1    | 1   | 1    | 1       | 55       | 24  |
| 都                 | 西多摩  |      |     |      |         |          |     |
|                   | 多摩立川 |      |     |      |         | 2        | 2   |
|                   | 南多摩  |      |     |      |         |          | 1   |
|                   | 多摩府中 |      |     |      |         | 3        | 2   |
|                   | 多摩小平 |      |     |      |         | 8        | 2   |
|                   | 島しょ  |      |     |      |         |          |     |
| 小計                |      |      |     |      |         | 13       | 7   |
| 合計                |      | 1    | 1   | 1    | 1       | 68       | 31  |
| 健康安全研究センター<br>検出分 |      |      |     |      |         | 20       |     |

\*2016年4月より、各保健所から搬入された検体を集計することとした

表2 検体搬入状況(全数把握対象疾患-五類)\*

2023年9月分

|                         | 検体数 | 2023年累計 |
|-------------------------|-----|---------|
| 侵襲性インフルエンザ菌感染症(菌)       | 8   | 37      |
| 侵襲性髄膜炎菌感染症(菌)           | 1   | 2       |
| 侵襲性肺炎球菌感染症(菌)           | 9   | 57      |
| カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(菌)** | 9   | 62      |
| 播種性クリプトコックス症(菌)         | 1   | 14      |
| 合計                      | 28  | 172     |

\*2016年4月(第37巻・第4号)から追加 \*\*2023年5月本庁通知による名称変更

表3 病原微生物検出状況(食中毒関連)

2023年9月分

|                               | 菌種名              | 検体数 | 2023年累計 |
|-------------------------------|------------------|-----|---------|
| 細菌                            | 大腸菌              |     |         |
|                               | 毒素原性             |     |         |
|                               | 組織侵入性            |     |         |
|                               | 病原血清型            |     |         |
|                               | 腸管出血性            | 1   | 2       |
|                               | その他・不明           |     |         |
|                               | サルモネラ            |     |         |
|                               | O4               | 1   | 8       |
|                               | O7               |     | 24      |
|                               | O8               | 1   | 11      |
|                               | O9               |     | 8       |
|                               | その他              |     |         |
|                               | 不明               |     |         |
|                               | 腸炎ビブリオ           |     |         |
|                               | その他のビブリオ         |     |         |
|                               | エロモナス            |     |         |
|                               | ブレジオモナス・シゲロイデス   |     |         |
|                               | カンピロバクター         | 25  | 89      |
|                               | 黄色ブドウ球菌          | 17  | 60      |
|                               | F型ウエルシュ菌         |     | 73      |
| ボツリヌス菌                        |                  |     |         |
| F型ボツリヌス毒素産生<br>クロストリジウム・パラティイ |                  |     |         |
| リステリア・モノサイトゲネス                |                  | 1   |         |
| セレウス菌                         | 12               | 16  |         |
| ウイルス                          | ノロウイルス(G I)      |     | 15      |
|                               | ノロウイルス(G II)     | 3   | 399     |
|                               | ノロウイルス(G I,G II) |     |         |
|                               | ロタウイルス           |     | 11      |
|                               | サポウイルス           |     | 2       |
| 寄生虫                           | アニサキス            | 4   | 44      |
|                               | クドア              |     | 1       |
| 合計                            |                  | 64  | 764     |

**表4 HIV 検査数及び陽性数**

2023年9月分

|                | 男性    |     | 女性    |     | 性別不明 |     | 合計     |     |
|----------------|-------|-----|-------|-----|------|-----|--------|-----|
|                | 検査数   | 陽性数 | 検査数   | 陽性数 | 検査数  | 陽性数 | 検査数    | 陽性数 |
| 東京都新宿東口検査・相談室※ | 772   | 3   | 185   | 1   | 0    | 0   | 957    | 4   |
| 保健所等           | 170   | 1   | 90    | 0   | 2    | 0   | 262    | 1   |
| 合計             | 942   | 4   | 275   | 1   | 2    | 0   | 1,219  | 5   |
| 2022年累計        | 8,698 | 58  | 2,776 | 2   | 6    | 0   | 11,480 | 60  |

※2021年3月より名称変更

**表5 性感染症検査数及び陽性数**

2023年9月分

|                | 梅毒検査   |       | クラミジア遺伝子検査 |     | 淋菌遺伝子検査 |    |
|----------------|--------|-------|------------|-----|---------|----|
|                | 検査数    | 陽性    | 検査数        | 陽性  | 検査数     | 陽性 |
| 東京都新宿東口検査・相談室※ | 922    | 97    | 0          | 0   | 0       | 0  |
| 保健所等           | 195    | 16    | 184        | 2   | 74      | 0  |
| 合計             | 1,117  | 113   | 184        | 2   | 74      | 0  |
| 2022年累計        | 10,998 | 1,001 | 2,369      | 111 | 1,472   | 5  |

※2021年3月より名称変更

**表6 定点把握疾患別病原体分離状況（ウイルス）**

過去3か月

| 定点種別    | 対象疾患名                     | 検出病原体               | 7月 | 8月 | 9月 | 合計 |
|---------|---------------------------|---------------------|----|----|----|----|
| 小児科     | 手足口病                      | エンテロウイルス            | 3  |    |    | 3  |
|         | RSウイルス感染症                 | RSウイルス              | 1  |    |    | 1  |
|         |                           | エンテロウイルス            | 1  |    |    | 1  |
|         | ヘルパンギーナ                   | パラインフルエンザ           | 1  |    |    | 1  |
|         | 不明発疹症                     | パレコウイルス             | 1  |    |    | 1  |
| インフルエンザ | インフルエンザ及びインフルエンザ様疾患 (ILI) | インフルエンザウイルスAH1pdm09 | 1  |    |    | 1  |

◆東京都微生物検査情報◆

2023年10月31日

編集・発行

東京都健康安全研究センター

〒169-0073

東京都新宿区百人町 3-24-1

TEL:03-3363-3213

FAX:03-5332-7365

S1153803@section.metro.tokyo.jp

<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>

(2023年7月1日よりURLを変更しました)